

用語解説

※【 】内の数字は掲載ページ

アルファベット

3 R 【P.41】

リデュース (reduce 廃棄物の発生抑制)、リユース (reuse 再使用)、リサイクル (recycle 再生利用、再資源化) の頭文字をとった言葉。環境にできるだけ負荷をかけない循環型社会を形成するための重要な標語であり考え方。

A E D (自動式体外除細動装置) 【P.26、35】

心停止となる前の心室細動をコンピューターが自動解析し、電気ショックが必要と判断した場合、機械の操作を音声メッセージで指示する装置。

GPS 【P.29】

全地球測位システムの略称。人工衛星を使い、全世界どこにいても現在位置を正確に割り出す測位システム。

ICT (Information and Communication Technology) 【P.100】

情報や知識の共有、コミュニケーションを図るために活用する情報通信技術の総称。

ISO14001 【P.42】

電力使用量の削減やごみの排出量の抑制など、環境保全に取り組むときの企業システムのあり方を定めた国際規格。企業は、環境保全の目標を掲げ、取り組み、そして達成状況を専門機関に報告し、専門機関は規格に基づき審査する。

L G W A N (Local Government Wide Area Network) 【P.109】

地方公共団体を相互に接続する行政専用

ネットワークで、高度情報流通を可能とする通信ネットワークとして整備し、地方公共団体相互のコミュニケーションの円滑化、情報の共有による高度利用を図ることを目的としている。

M I C E (マイス) 【P.79】

Meeting (ミーティング)、Incentive (インセンティブ)、Convention (コンベンション)、Event (イベント) / Exhibition (エキシビジョン) の頭文字を並べた単語であり、企業ミーティング、報奨旅行、国内・国際会議イベントや展示会を指す。

P A 連携 (消防隊による救急活動支援) 【P.35】

消防車 (Pumper) と救急車 (Ambulance) が同時に出動し、救急活動を連携して行うこと。P A 連携を行う場合とは、①心肺停止状態の傷病者が発生したと疑われる場合。②交通事故などで2次災害発生の恐れがある場合。③状況により支援が必要と認められる場合。

S M R (標準化死亡率) 【P.23】

それぞれの病気等における死亡状況について、各市町村の人口規模や年齢構成を加味し、県を100として計算したもの。

あ行

熱海市環境基本計画 【P.42】

本市の環境上の課題や、方針をできるだけ数値目標で設定し、その目標を達成するための具体的なプログラムを示した計画。

熱海市公営住宅ストック総合活用計画 【P.100】

公営住宅の実情を踏まえ、公営住宅に対

する需要の把握と、地域の実情に応じたストック活用にかかわる理念と目標の設定を行い、建替、改善、維持保全などの適切な事業手法の選択のもとに、公営住宅ストックを総合的に活用するための計画。

熱海市公営住宅等長寿命化計画【P.100】

地方公共団体が管理する、老朽化した公営住宅等ストックについて、効率的かつ円滑な更新を実現するため、予防保全的な維持管理を推進することにより、公営住宅等ストックの長寿命化を図り、ライフサイクルコストの縮減につなげるための計画。

熱海市都市計画マスタープラン【P.90】

市が定める都市計画の基本を示すもので、土地利用の誘導や都市施設の整備等の根拠となる市の将来都市像を明らかにするもの。

アプリケーション【P.109】

パソコン上で、文章の作成や表計算、データ管理、メール送信などを行なうときに使用するソフトウェアのこと。

伊豆湘南道路【P.30、77、105、106】

小田原方面から熱海を経て三島・沼津方面へと県際を結ぶ新たな広域幹線道路。

いたわりゾーン【P.29、38】

道路利用者（車や歩行者）が高齢者や身体の不自由な人に対し、特にいたわりの心を持って運転や通行をするよう、呼びかけている区間。

一店逸品（いってんいっぴん）運動【P.81】

静岡呉服町名店街が発祥で、個々のお店が自信（こだわり）をもって紹介できる商品を積極的に展開する運動のこと。現在は全国の多くの商店街に波及している。

インバウンド【P.70、75】

外から中に入り込んでいくことを意味する。一般的に訪日外国人旅行を指す。日本人が海外旅行をする場合は、アウトバウンドとなる。

海の駅【P.109】

マリレジャーの多様化、安全で安心なマリレジャーの振興、地域経済の活性化に対応した新たな拠点として、既存の港湾やマリーナ、フィッシャリーナ等を活用した施設。来訪者のための一時係留設備（ビジターバース）、トイレ、情報提供のための施設を要件とし、地域観光の足がかりとしても利用されている。

エコアクション21【P.42】

エコアクション21は、「環境への取り組みを効果的・効率的に行うシステムを構築・運用・維持し、環境への目標を持ち、行動し、結果を取りまとめ、評価し、報告する」ための方法として、環境省が策定したガイドラインに基づく、事業者のための認証・登録制度。

エコドライブ【P.47】

アイドリングストップ等、環境に配慮した自動車の運行を行うこと。

か行

拡大生産者責任【P.43】

生産者の責任を製品の製造・流通時だけでなく、製品が廃棄され処理・リサイクルされる段階まで拡大する考え方。

カーシェアリング【P.47】

地域社会で温暖化防止対策の一環として

始まっているもので、複数の人が車を共同利用するというもの。

霞ヶ関WAN **【P.109】**

中央省庁の相互接続した広域ネットワークでL G W A N同様、省庁間のコミュニケーションの円滑化や情報共有を目的に設置された。

カーナイダー **【P.47】**

熱海市において、毎月10日、20日、30日に自家用自動車の利用を控え、公共交通機関を利用することにより、排出ガスによる大気汚染の軽減を図ろうとする取り組み。

観光商業集積区域 **【P.93】**

熱海市まちづくり条例に規定されている名称で、基幹産業をより発展させていきたい区域。

企業立地促進法 **【P.85】**

(企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律) 地域における主体的で計画的な企業立地促進等の取り組みを支援し、地域経済の自律的発展の基盤強化を図るもの。県の策定した計画では、医療関係などのほか観光産業の集積が位置付けられている。

グリーン購入 **【P.39、42】**

製品やサービスを購入するとき、必要性をよく考え、価格や品質だけでなく、環境への負荷ができるだけ小さいものを優先的に購入すること。

グリーンツーリズム **【P.74】**

農村や山村などで自然や文化を楽しむ旅。自然派志向の家族の増加や、受け入れ側の

民宿が自治体や農協や漁協などの協力を受けて、野菜の種まきや収穫などの体験メニューが人気の背景にある。

クーリング・オフ **【P.39】**

冷静な判断ができないまま契約してしまいがちな販売方法や悪質商法から、消費者を守る制度で、一定期間内に書面で通知すれば無条件で契約解除できるというもの。

ゲストティーチャー **【P.64、65】**

先生以外に、スポーツや伝統文化、歴史等を教える地域の指導者等。

ゲーミング産業 **【P.85】**

カジノを中心に形成される産業の総称。ショーやマジック、遊園地などのエンターテイメント、ショッピングモールやフードコートなどで構成される。

高機能消防指令センター通信システム **【P.33、34】**

最新鋭のコンピューターと最新の通信機器を駆使し、各種災害時において119番通報の受信から出動指令時間の短縮並びに支援情報等による確実な現場対応を可能とし、今まで以上に迅速で効果的な消防活動が可能になるシステム。

合計特殊出生率 **【P.17】**

15歳～49歳の年齢別出生率(=母親の年齢別出生率/年齢別の女性の人数)を合計したもので、一人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に産むとした場合の平均子ども数。

「公助」「自助」「共助」 **【P.26、28、29】**

「公助」個人や地域あるいは民間の力で解決できないことについて公的機関が行う

こと。「自助」自分の責任で自分自身が行うこと。「共助」自分だけでは解決や行うことが困難なことについて、周囲や地域が協力して行うこと。

交通結節点 【P.93】

異なる交通手段（場合によっては同じ交通手段）を相互に連絡する乗り換え、乗り継ぎ施設で、移動の一連の動きの中のひとつの重要な要素であり、「つなぐ空間」「たまる空間」としての役割を有している。

コミュニティビジネス 【P.125】

地域住民が主体となって起業するビジネスで、ボランティア精神を持ちつつも利益を伴ったビジネスとして成立させ、活動を通して地域のコミュニティの再生を図る。

さ行

災害時要援護者台帳 【P.16】

災害時に援護が必要な方（災害時要援護者）を事前に把握し、いざという時の円滑な支援に役立てるための台帳。

災害ボランティアコーディネーター 【P.29】

災害時において、①ボランティアをやりたい人と頼みたい人（被災者）のニーズをつなぎ、フォローすること。②ニーズを発掘し、活動を創り出すこと。③行政、住民（避難所）、被災地内外のボランティア団体、企業などと連絡調整すること。④ボランティア拠点を運営すること、などを主な役割としている人々。

市街地再開発事業 【P.91】

土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図るため、都市施設と建築物

を一体的に整備する事業。

ジャパニズムツーリズム 【P.74】

日本の文化である温泉情緒、和食、芸妓を体験できる観光事業。

住民協議会 【P.114】

特定のテーマ（例えば、景観、地区再開発、地域安全など）に関し、活動している住民を基本に組織された団体。

循環型社会 【P.41、102】

環境への負荷が大きい「大量生産、大量消費、大量廃棄型」の社会を見直し、省資源、省エネルギーに心掛けながら、資源を再使用、再利用するなどの循環利用により、環境に負荷をかけず、環境への調和をめざしていく社会のあり方。

生涯学習施設 【P.52、53】

図書館や公民館、姫の沢自然の家等の社会教育施設を指す。

消防相互応援協定 【P.34】

消防組織法第39条に基づき、火災その他の災害及び救急事故が発生した場合、相互間の消防力を活用し、災害の被害を最小限度に防止することを目的に締結する協定で現在、湯河原町・伊東市・田方地区と締結している。

ゼロ・エミッション 【P.45】

ある産業の生産工程から排出される廃棄物を別の産業の再生原料として利用する完全循環型の生産システム。

総務省方式改訂モデル方式 【P.117】

新地方公会計制度における財務書類の作成方法の一つで、各自治体のこれまでの取

組や作成事務の負荷を考慮し、固定資産台帳や個々の複式記帳によらず、既存の決算統計情報を活用して作成するもの。

た行

地域安全コミュニティ会議 【P.36、56】

熱海市市民安全条例を基に、市内8地区の小学校区を1単位とし、町内会連合会を母体にした「安全・安心」対策を総合的に実施する機関。参加団体は、町内会・自主防災会・PTA・地域安全推進員・青少年健全育成会・消防団・交通指導員・民生児童委員・老人クラブ・その他地域が必要とする団体。

地域協働体 【P.114】

地域における公共サービスの核となり、地域コミュニティ組織など地域の多様な主体による公共サービスの提供を総合的、包括的にマネジメントする組織。

地域商店街活性化法 【P.81】

(商店街の活性化のための地域住民の需要に応じた事業活動の促進に関する法律)商店街が活性化のために計画する、中小小売商業の振興・地域住民の生活利便性の向上及び地域の人々の交流を促進するための事業を総合的に進めるための制度。

地域包括支援センター 【P.22】

地域における①介護予防支援、②介護予防マネジメント、③総合相談・支援・権利擁護、④地域ケア支援を行う中核組織。

地域防災無線システム 【P.28、110】

従来1チャンネルであった防災行政無線を行政機関以外の機関(病院、自主防災組織等)までを通信系に含めることが可能

なシステムでデジタル化の推進により多チャンネルとして使用できる。

地球温暖化対策実行計画(熱海市役所の地球にやさしいオフィスプラン21)【P.42】

事業者や市民等に地球温暖化対策に向けた取り組みの実行を求めると同時に、市自ら率先して温室効果ガスの排出抑制を推進していくために必要な行動を示した計画。

着地型観光 【P.74】

これまでの旅行商品が都市部の旅行会社で企画・造成される「発地型」であったのに対し、旅行目的地側主導で行うこと指す。消費者志向の多様化に伴い、地元の人しか知らないような穴場や楽しみ方が求められるようになり、着地型が見直されている。地元にとっても新しい観光素材を掘り起こし、都市部の旅行会社に提案する着地型が地域おこしにつながるとして力を入れている。

中間支援組織 【P.114】

行政と地域の間につなぐ様々な活動を支援する組織のこと。多くはNPOへの支援などを主目的として発足している。NPOの整備のための相談窓口などのセンター的機能を持ち、公設(民営もある)・民設両方の形態がある。

中心市街地活性化法 【P.91】

空洞化が進む市街地のにぎわいを取り戻し、良好な都市空間を創造するために、共同駐車場の設置や公共施設、共同住宅、商業ビルの建設などハード整備と、空き店舗対策やまちづくりの中核となるタウンマネジメント機関の設置、人材育成等のソフト事業により、総合的にまちづくりを進めるための制度。

通級指導教室 **【P.64】**

小中学校の通常の学級に在籍している、言語障がいや情緒障がいなどの障がいのある児童生徒のうち、比較的軽度の障がいのある児童生徒に対して、個々の障がいの克服と改善と環境への適応をするために指導を行う場。本市では第二小学校に「ことばの教室」・「わかたけ教室」（通称）として設置。

低炭素社会 **【P.27、41、42】**

地球温暖化の主因とされる温室効果ガスの1つ、二酸化炭素の最終的な排出量が少ない産業・生活システムを構築した社会。

低床バス・ノンステップバス

【P.104、105】

高齢者や障がいのある人に配慮した、乗降口に階段のない低床のバス。

適応指導教室 **【P.62、64】**

長期欠席をしている不登校の児童・生徒を対象に、学籍のある学校とは別に部屋を用意して、そこで学習しながら本籍校に復帰できることを目標に運営している教室。

デポジット制度 **【P.43】**

一定の金額を預かり金（デポジット）として販売価格に上乗せし、製品（容器）を返却すると預かり金を消費者に戻すというしくみのこと。

統合型地理情報システム（統合型GIS）

【P.29】

コンピューターを使って、別々の情報があった地図を一つのものとし、地理情報を統合的に判断するシステムを防災対策や災害時に役立てようとするもの。

特別支援学級 **【P.64】**

教育上特別な支援を必要とする児童・生徒のための学級。第一小学校、多賀小学校、熱海中学校、多賀中学校の4校に設置。

特別支援学校 **【P.64】**

特別支援教育のもとで障がいのある子どもたちに教育を行う学校。

特別支援教育 **【P.50、62、64】**

障がいの種類や程度に応じ、特別支援学校や特別支援学級において、より多くの支援を行う教育に加え、通常の学級に在籍する学習障害（LD）、注意欠陥／多動性障害（ADHD）、自閉症の子ども達に対しても、個を尊重した適切な教育的支援を行う教育。

土砂災害情報相互システム **【P.31】**

土砂災害に対する警戒避難体制を整備補助するシステムとして、「住民に対して土砂災害情報等を配信する」また、「住民から土砂災害発生・前兆現象情報を受信する」など行政と住民の間で相互に情報連携するシステム。

土地区画整理事業 **【P.92】**

都市計画に沿った土地の有効利用と、道路など公共施設の一体的整備を進め、健全な市街地形成を図る事業。

な行

ニート **【P.56、57、86】**

若年無業者のうち「非求職型および非希望型」、つまり「就職したいが就職活動していない」または「就職していない」者。

ネイチャーツアー **【P.73】**

自然の中で野生動物と接したり、珍しい

動植物の生態に触れるなど、アウトドア活動を楽しむような旅行。

ノーマライゼーション **[P.14、15]**

高齢者や障がいのある人など、ハンディキャップがあっても普通の生活を営むことができ、かつ差別されない社会を作るという基本理念。

は行

パーク&サイクル **[P.78]**

駐車場から自転車を利用して移動することで、交通渋滞の解消と地球温暖化の軽減に貢献する交通システム。電動アシスト自転車を利用することで坂道の利用も可能となる。

ハザードマップ **[P.29]**

災害予測地図。防災を目的に災害に遭う地域を予測表示し、避難場所等の防災情報を含んだ地図。

バリアフリー

[P.16、89、98、103、107、108]

障がいのある人や高齢者の生活に不便な障害を取り除こうという考え方。道や床の段差をなくしたり、階段のかわりにゆるやかな坂道を作ったり、電卓や電話のボタンなどに触ればわかる印をつけたりするのがその例。

ファミリーサポート制度 **[P.18]**

仕事と子育ての両立を支援するため、地域において子どもの預かり等の援助を行いたい者と援助を受けたい者が会員となり、有償で助け合うシステム。

フラットな組織 **[P.118]**

職員の階級を圧縮することによって命令機構を早くする職のフラット化及び課・係制を室制・班制にし、情報共有して係の壁をなくす組織上のフラット化を指す。

フラワーリズム **[P.73]**

日本の四季折々の多種多様な花を観光資源とし、旅先で花にふれあうことによってその旅行をさらに意義深いものにする。また、観光のための地域づくりを行い地域振興を図る、ということをも目的とした新しい旅行スタイル。

ブルーリズム **[P.74]**

島や沿海部の漁村に滞在して、海辺での生活を体験する旅。国土交通省が推進し、新しい余暇活動の提案や新しいサービス産業の創出、地場産業の育成を狙いとしている。

ヘルスリズム **[P.74]**

病気やけがの治療・療養のほか、美容・痩身、ストレス解消、体力増強など健康増進を目的とした旅行全般を指す。自然のなかでリラックスしたいというニーズや健康志向の高まりとともに、温泉や自然とのふれあい、地域ならではの食など、旅行そのものの医学的効果が見直されている。

放課後児童クラブ **[P.18]**

保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している概ね10歳未満の児童に対し、放課後や長期休業中に学校の余剰教室等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業。

ポケットパーク **[P.98]**

道路整備や交差点の改良などによって生

まれたスペースを活用してつくられた小公園。

ま行

マイバッグ運動（買い物袋持参運動）

【P.39、42、45】

買い物の際に、マイバッグ（買い物袋）を持参して、レジ袋等をもらわない運動。

まちづくり空地

【P.99】

熱海市まちづくり条例に設置を規定されている空地。歩行空間や憩い空間を確保するもの。

まちなみ環境整備事業

【P.91】

ゆとりと潤いのある住宅地区の形成のため、地区施設、住宅、生活環境施設の整備など住環境の整備改善を行う地方公共団体及び土地所有者に対して国等が助成する事業。

まちの駅

【P.73】

国道沿いにある「道の駅」は、高速道路のサービス・エリア機能を持つものだが、さらにそれを進化させ、地域住民と来訪者、地域住民同士、来訪者同士の交流を促進しようということから生まれた。インフォメーションセンター、休憩施設があり、旅行や買い物中に気軽に立ち寄れたり、仲間と集まって何かができたりする施設であり、まちの案内人がおり、観光客には便利な存在である。

密集住宅市街地整備促進事業

【P.92】

老朽化した住宅が密集し、著しく居住環境の悪い市街地において、建て替えの促進や住宅事情の改善を行う地方公共団体に対して、国が必要な助成を行う事業。

メディカルコントロール体制

【P.35】

消防機関と医療機関との連携によって、①救急隊が現場からいつでも迅速に医師に指示、指導、助言が要請できる、②実施した救急活動の医学的判断、処置の適切性について医師による事後検証を行い、その結果を再教育に活用する、③救急救命士の資格取得後の再教育として、医療機関において定期的に病院実習を行う、という体制。

や行

ヤングジョブステーション

【P.86】

若者が様々な就職支援を1ヶ所で受けられるセンターとして静岡県が沼津・静岡・浜松に設置した施設。

ユニバーサルデザイン

【P.6、16、53、66、75、88、98、100】

まちづくりやものづくりをすすめるにあたり、すべての人に配慮した、環境、建物、施設、製品、サービス、制度、教育等のデザイン（構想、計画、設計）をしていこうとする考え方。

わ行

ワンストップサービス

【P.60、117】

住民票などの交付、福祉関係など複数の箇所にもまたがって提供されている関連手続きの窓口を集約し、必要とする関連作業をすべて完了させられるようにしたサービス。

